

江戸時代の  
図説事典

11,000円  
0,000円  
並製カバー装・1168頁  
11月刊行  
978-4-585-20019-9 ©2001

きんもうすい

本体10,000円  
菊判・並製カバー装・1168頁  
2025年11月刊行  
ISBN978-4-585-30019-9 C3001

# 訓蒙図彙

勉誠社



江戸時代に作られた  
わが国最初の  
絵入り百科事典！

江戸時代初期、寛文六（一六六六）年刊の、わが国最初の図説事典の初版初刷り本を複製。日本の博物学の歴史に輝く名著として名高く、後続の絵入り事典の模範となった。総語彙数約八千語を収録し、日本語・日本文学、風俗史、博物学史の有力資料であり、一四八四点におよぶ精緻な図は、今日でも図版やデザイン画として様々に利用できる。



# 江戸時代の 図説事典

## 訓蒙図彙



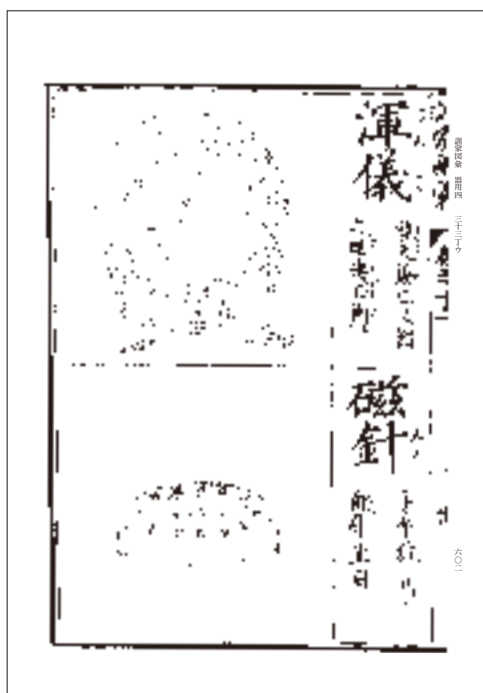
小林祥次郎＝解題

定価11,000円・本体10,000円・菊判・並製カバー装・1168頁・2025年11月刊行・ISBN978-4-585-30019-9 C3001

※本書は2012年に刊行した『江戸のイラスト辞典 訓蒙図彙』(978-4-585-20011-6)をもとに再版したものです

### 内容見本

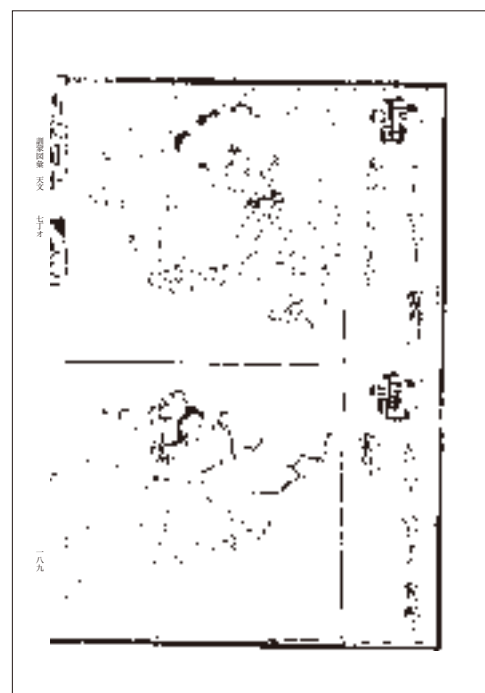
縮率41.7%



渾儀、磁針  
[器用部より]



貉、猫  
[畜獣部より]



雷、電  
[天文部より]

江戸時代の啓蒙的図入り事典の通称。この名称は、中村楊斎編の寛文六年版『訓蒙図彙』に始まる。その内容は、挿絵入りで百科項目を一般初心者向きに解説した書物で、読者に歓迎されたと見えて版を重ね、天和・貞享(一六八〇～一六八八)以後にはそれを追隨した各専門分野の同種の書籍が続出した。すなわち『武具訓蒙図彙』『好色訓蒙図彙』『女人訓蒙図彙』『人倫訓蒙図彙』などである。事項を図入りで平易に解説してあるの、当代の常識を会得するに絶好な文献である。

(日本古典文学大辞典を参照)

### 訓蒙図彙とは？

さんもつすい



### 索引

●[訓蒙図彙]解題と索引

- 影印
- 訓蒙図彙  
第一～五冊
- |    |    |    |
|----|----|----|
| 天文 | 宝貨 | 米穀 |
| 地理 | 器用 | 菜蔬 |
| 居処 | 畜獸 | 瓜蒞 |
| 人物 | 禽鳥 | 樹竹 |
| 身体 | 龍魚 | 花草 |
| 衣服 | 虫介 |    |

# 江戸時代の図説事典 訓蒙図彙

小林祥次郎＝解題

定価11,000円(税込) [本体10,000円(+税)]  
菊判・並製カバー装・1168頁・2025年11月刊行  
ISBN978-4-585-30019-9 C3001

ご注文冊数

貴店番線印

お名前・ご住所・お電話番号ほか

勉誠社

〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町2-18-4 TEL=03-5215-9021 FAX=03-5215-9025 E-mail=info@bensei.jp URL=https://bensei.jp/

※ご記入いただいた個人情報は、書籍の発送、お支払い確認、ご希望いただいた方への刊行案内を送りするために使用し、それ以外での使用は致しません。